

『紡ぐ』

2022.11.1 第50号

発行 教育相談室「あした塾」



深招秋

提供

七尾市 長坂真智子文

侵略



まさに「侵略」と言えます。
耕作放棄地を中心に所
のいたる所に勢力を伸
ばす「セイタカアワダチソウ」。
北アフリカ原産で、明治
時代末期に持ちこた
れたとの記述もあります
が、その存在が目立つ
ようになったのは、第二次

世界大戦後、アフリカ軍の輸入

物資に付いていた種子によるものが拡大起因

とされているようです。外来生物法で「要注意外来生物」に指定されて
います。日本生態学会によって日本の「侵略的外来種」ワースト100にも選ばれている
とのこと。種子だけでなく地下茎でも増えるおそろしい物です。

農薬がなければなくならない現状です。美しいとはとても言えない。むしろ恐怖を
感じます。

日本伝統漆芸展

水谷内 修さん

最賞



(写真は
北国新聞刊)

第40回日本伝統漆芸展
で、戸水町出身の水谷内
修さんが最高賞である文
部科学大臣賞に選ばれ
ました。作品は「沈金箱
『閑閑(ひまひま)』」です。
すばらしいことですね。

「しんぶん『紡ぐ』」

2020年4月1日

50号

に第1号を発行してから2年半余り。節目の
50号になりました。戸水町の現状をしっかりと
受け止め、所民の皆さんと共に、この戸水を
住みよく、生き生きとした町として存続させる
ために知恵と力を出し合いませんか!? という思
いを込め、発行を続けています。多くの皆さ
んの支援、多くの区長さんや町内会長さんの協力
をいただいています。ありがとうございます。

人口は7,600人を迎えました。頑張らないと。(瀬川)

穴水町議会10月臨時会(10月21日)

穴水中グラウンドと所有地

10月17日の町議会全員協議会で、穴水中学校のグラウンドのすべてを所有地とするための用地取得費を含む一般会計補正予算案が提示され、10月21日の町議会臨時会で原案通り可決されました。

穴水中学校のグラウンド11,000㎡の約62%にあたる6,802㎡(穴水中学校)が私有地で、実に73年にわたって賃借してきたのです。18年ほど前には土地所有者がグラウンドに杭打ち(測量のため?)をし、しばらくグラウンドが使用できないこともありました。その用地取得費が1億884万円です。全員協議会でどのような議論があったのかはわかりませんが、臨時会では、質疑・討論などはなく原案通り可決されました。小学校の統合問題のやりとりもありました。子どもたちの安全についてはおっしゃる通りです。その他、補正予算の内容は豪雨被害の復旧費約5,000万円、トキ放鳥に向けて100万円、「穴水カキ列車エンターテインメントチケット」事業費739万円などです。

(この臨時会の傍聴者は1名でした。)



小学校の統合問題

穴水小学校と白洋小学校の統合に関しては、白洋小の保護者らでつくる「穴水町の子ども・教育を考える会」が統合を白紙に戻すことを求める陳情書を町議会に提出しています。

中川生馬共同代表らは「統合が悪いと言っているのではない。」「町全体で子どもたちにとって何が一番大事かを考えてほしい。」と話しています。

陳情書は議会運営委員会に協議するとのことだ。



(この記事は北国北中をもとにしています。)

(写真は北国北中新聞より10月7日、山本議長氏。)

穴水再発見の旅

「穴水再発見の旅」の最終駅めぐりのあと、父のようす便りが届きました。

「先日の穴水再発見の旅は感銘深いものがありました。私の父



は昭和50年から2年間、旧国鉄七尾保線区穴水支区甲検査長として能登線の保線作業に当たっていたようです。今回の旅で、当時、父の下で働いていたという方と一緒に、父の話を聞くことが出来ました。私には見せたことのない父の一面を知りました。父の働いていた甲駅の写真を多く撮りました。」(七尾市 道下利信さん)